＜＜口頭発表演題、時間＞＞

１２月８日

口頭発表Ⅰ（16:30ー17:45：b403 教室）

16:30-16:45

O1　印旛沼水系で進められているカミツキガメ対策

〇高橋洋生[1]、秋田耕佑[1]、高山順子[2]、尾崎真澄[2]（自然環境研究センター[1]、千葉県生物多様性センター[2]）

16:45-17:00

O2　千葉県産カミツキガメ（Chelydra serpentina）の生息地と食性の違い

〇辻井聖武[1]、矢部隆[2]（名城大学大学院農学研究科環境動物学研究室[1]、愛知学泉大学現代マネジメント学部[2]）

17:00-17:15

O3　淡水カメ類の卵被食の実態ーカメの卵を食べたのは誰か？ー

〇尾崎真澄（千葉県生物多様性センター）

17:15-17:30

O4　ニホンイシガメ集団の存続の危機、アライグマの後はクサガメが復活？！

〇小菅康弘（NPO 法人カメネットワークジャパン）

17:30-17:45

O5　アカミミガメの法規制に対する市民の意識

〇片岡友美、佐藤方博（認定 NPO 法人生態工房）

（18:00ー20:00　懇親会、日本獣医生命科学大学大学生協にて）

１２月９日

口頭発表Ⅱ（9:30-10:15：b403 教室）

9:30-9:45

O6　いつもの産卵場所がなくなったカーコちゃん

〇中村康子（主婦）

9:45-10:00

O7　クサガメの産卵行動について

〇青柳育夫、菊元えりか、落合悠太（栃木県立佐野高等学校生物部）

10:00-10:15
O8　デジタルカメラのインターバル機能を利用したニホンイシガメの産卵行動モニター
〇菊水研二（元岡「市民の手による生物調査」）

10:15-11:30
ポスターセッション（b402 教室）

口頭発表Ⅲ（11:30-12:30：b403 教室）

11:30-11:45
O9　鼈食利用文化史管見
〇後藤康人（東京都江戸川区）

11:45-12:00
O10　名古屋市の植田川におけるカメ類の分布と河川環境の関係について
〇山田綾子[1]、辻井聖武[2]（名城大学農学部環境動物学研究室[1]、名城大学大学院農学研究科環境動物学研究室[2]）

12:00-12:15
O11　植田川における落差工のカメ類の行き来の可不可・生態調査・外来駆除について
〇柴田亮介、丹羽築（名城大学農学部生物環境科学科環境動物学研究室）

12:15-12:30
O12　大正川におけるニホンイシガメ保護活動の経過
西堀智子（和亀保護の会）

＜＜ポスター発表演題＞＞

＊ポスターセッション：12 月 9 日 10:15-11:30（b402 教室）

P1　愛知県安城市本證寺における外来カメ類およびその他の外来水生動物の防除と在来カメ類の保全
〇矢部隆、野呂達哉（日本カメ自然誌研究会）

P2　名古屋市における外来カメ類の防除活動と在来カメ類の保全
〇野呂達哉、矢部隆（日本カメ自然誌研究会）

P3　光が丘公園におけるカミツキガメの根絶

○佐藤方博、片岡友美（認定 NPO 法人生態工房）

P4　佐賀城お堀のハス再生プロジェクトー外来種駆除と生態系保全に取り組む市民・学・官協働のフロントランナーー
○有馬進（佐賀城お堀のハス再生プロジェクト）

P5　岐阜大学地区のニホンイシガメの保全にむけた取り組みについて
○楠田哲士[1]、吉川晶子[1,2]、安積修平[1]、加古智哉[1]（岐阜大学応用生物科学部動物繁殖学研究室[1]、現：小諸市動物園[2]）

P6　愛知県知多半島のため池における淡水カメ類の分布と棲息状況の変化
　杉浦健太[1]、○三輪俊仁[2]（ホーメックス株式会社[1]、名城大学大学院農学研究科[2]）

P7　千葉県桑納川におけるカメ類の分布と生息状況
○下藤章、小川晟人、竹俣暁、千須和亮佑、星野佑太（東邦大学生物部外来生物調査班）

P8　三浦半島におけるカメ類の種組成
○天白牧夫[1]、大澤啓志[2]、勝野武彦[2]（日本大学大学院[1]、日本大学[2]）

P9　岐阜大学地区のミシシッピアカミミガメとクサガメの雄における血中テストステロン濃度と甲長および季節との関係
○加古智哉[1]、楠田哲士[1]、吉川晶子[1,2]、安積修平[1]、土井守[1]（岐阜大学応用生物科学部動物繁殖学研究室[1]，現：小諸市動物園[2]）

P10　アカミミガメを喰う
○三笠友彰[1]、川瀬成吾[1]、竹本雅則[2]、細谷和海[1]（近畿大学大学院農学研究科環境管理学専攻水圏生態学研究室[1]、近畿大学農学部環境管理学科[2]）

P11　爬虫両生類情報交換会のイシガメ観察会
○岡田仁、爬虫類両生類情報交換会（爬虫両生類情報交換会）

P12　ニホンイシガメ応援団ー新しい寄付プログラムへの取り組みー
○小河原孝恵、若澤英明（認定 NPO 法人生態工房）

＊演題数を変更しました（2012/11/8）